

# 本人の意思尊重し支援

## 十人十色

21

### 子どもたちの今

アットスクール高等学院（明蓬館高校サポート校）で卒業証書授与式があり、3名の門出をお祝いすることができました。

大学や専門学校、就労支援事業所など新しいステージへと巢立つていくことになりました。

今回は卒業生の一人、F君についてお話しします。彼は中学1年の2学期から欠席が続くようになり、担任と顔を合わせることを拒否し、別室に登校しても教室では毛布を被つて過ごしていました。家庭でもご両親が声を掛けても反応がない状況が続き、ご両親は第三者の支援の必要性を感じ、相談に来られました。

家や学校以外の居場所、学習の補習が必要と感じ、週1回個

## 新しいステージへの巣立ち



卒業証書を受け取るアットスクール高等学院の生徒ら（草津市で）

別指導を始めることにしました。入出の少ない日中に通い始めましたが、自分の存在を消すかのように深くフードを被つています。筆談での「コミュニケーション」でしたが、指導を続けるうちに会話も少しづつできるようになりました。

中学3年になり、進学準備を

し、全日制高校への入学ができました。進学して間もなく、欠席が増え、再び不登校となり留

めました。人出の少ない日中に通い始めましたが、自分の存在を消すかのように深くフードを被つています。筆談での「コミュニケーション」でしたが、指導を続けるうちに会話も少しづつできるようになりました。

中学3年になり、進学準備をし、全日制高校への入学ができました。進学して間もなく、欠席が増え、再び不登校となり留

めました。人出の少ない日中に通い始めましたが、自分の存在を消すかのように深くフードを被つています。筆談での「コミュニケーション」でしたが、指導を続けるうちに会話も少しづつできるようになりました。

成績発表会では、保護者や先生など多くの方の前で、独学で取り組んだ「デジタル絵」をテーマに、塗り方や考え方を堂々と発表しました。作品の完成度の高さに全員が魅了されると共に、F君の成長した姿に目頭が熱くなりました。

（発達支援塾アットスクール  
代表 鈴木正樹）

年が決定。全日制高校に在籍しつづけるよりはと、通信制の明蓬館高校へ転校し、当学院で再スタートしました。

学院では、オンラインによる学習、本人の不安やこだわりを減らすために人間関係を円滑にする技術を教え、メンタルサポートもしました。当初、週2回の登校でしたが、毎日通えるようになり、クラスの役割を進んで引き受け、困った生徒を手助けするようになりました。

私たちとご両親は、学校が安心して活動できる場になるように、本人のやり方や意思を尊重しました。困った時は質問できるリクエストスキルも教えました。